

市ヶ尾中Times

<学校教育目標>

自立貢献

発行者:校長 濱部 剛

長かった夏休みが終わり、8月27日から学校が再開しました。静かだった校舎に子どもたちの元気な声や笑顔が戻り、まるで眠っていた学校が目覚めたかのような感覚を覚えました。改めて、学校は子どもたちの存在によって生き生きと輝く場所なのだと実感しています。

9月16日から18日には前期期末試験が実施されました。そして、試験終了後は10月28日に開催される合唱コンクールに向けた取組が本格的に始まっています。これからの学校は、さまざまな場所で子どもたちの歌声が響き渡る季節を迎えます。日を追うごとに歌声が一つになり、クラスの絆が深まっていく様子を見ることができるのは、この時期ならではの大きな楽しみです。

子どもたち一人ひとりの成長と、学級が一丸となって生み出す作品を今から楽しみにしています。

中学生と地域防災 ～「自助」と「共助」が地域を支える～

9月1日は「防災の日」です。これは、1923年9月1日に発生した関東大震災の教訓を忘れず、防災意識を高めるために制定されたものです。

本校でも、防災の日に合わせて避難訓練を実施しました。今回は東京湾を震源とする大規模地震を想定し、最初の揺れで机の下に身を隠した後、揺れが収まって安心したところで大きな余震が発生するという訓練を行いました。また、その後には保護者の皆様にご協力いただき、引き取り訓練も実施しました。ご協力ありがとうございました。

今年は熊本地方で大きな地震が発生したほか、8月から9月にかけて全国各地で豪雨による災害が相次ぎました。また、世界に目を向けると、ネパールやチベットでは土石流による大規模災害も発生しています。災害は予測されたものだけが起こるわけではありません。「この地域は大丈夫」「自分は大丈夫」という思い込みが危険であることを、改めて認識する必要があります。

災害時に中学生の皆さんに特に大切にしてほしいのは、「自助」と「共助」の考え方です。まずは、「自分の命は自分で守る」という意識を持つことです。地震や火災、大雨による土砂災害など、さまざまな状況を想定し、避難場所や避難経路の確認、家族との連絡方法の共有などを日頃から行っておくことが、自らの命を守ることに繋がります。さらに、その備えは周囲の人の命を守ることにも繋がります。災害時には、高齢者や小さな子どもへの支援、避難所での活動など、多くの場面で中学生の力が期待されています。だからこそ、地域防災にも関心をもち、地域の一員としてできることを考えてほしいと思います。

今後、市ヶ尾地区や荏田西地区でも地域防災訓練が予定されています。ぜひご家族で参加し、万が一の際にどのように行動するのかを話し合う機会としていただければと思います。一人ひとりの備えが、地域全体の安心と安全につながります。市ヶ尾中学校では、これからも地域と連携しながら、防災意識の向上に努めてまいります。



<市ヶ尾中学校ホームページ>

※各学年の活動や、学校からのお知らせを掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

URL: <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/ichigao/index.cfm>

地域とともに学ぶ下市ヶ尾盆踊り大会 ～地域貢献と環境活動～

7月25日・26日に開催された「下市ヶ尾盆踊り大会」に、本校生徒がボランティアとして参加しました。生徒たちは、おもちゃ販売の手伝いや来場した子どもたちへのお菓子・ジュースの配布などを担当し、地域の方々と交流しながら活動しました。

また、会場では、本校がESDの一環として取り組んでいるプラスチックごみ削減に向けた資源回収活動も実施しました。今回は、「ペットボトルキャップ」「使い捨てコンタクトレンズケース」「使用済み歯ブラシ」の3種類を回収しました。

地域の皆さまの温かいご協力により、次のような成果を得ることができました。

- ・ペットボトルキャップ 1,897g
- ・使い捨てコンタクトレンズケース 812g
- ・使用済み歯ブラシ 63本

多くの皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。

今後も市ヶ尾中学校では、地域とのつながりを大切にしながら、環境保全や持続可能な社会の実現に向けた活動に取り組んでまいります。



地域の未来を考える「青葉かがやくいきいきプラン」意見交換会

9月2日、青葉区役所において「青葉かがやくいきいきプラン」意見交換会が開催されました。市ヶ尾地区・荏田西地区で地域活動に携わる方々と、本校の生徒会本部役員および福祉委員会の生徒が参加しました。この意見交換会は、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域づくりについて考えることを目的として行われました。地域の方々と中学生がグループに分かれ、活発な意見交換を行いました。

当日は、「自分が住んでいる地区では、どのような地域活動が行われているのか」「住んでいる地域のために、自分には何ができるのか」をテーマに話し合いました。生徒からは、「地域のお祭りや防災訓練に積極的に参加したい」「高齢者や小さな子どもの手伝いをしたい」など、地域との関わりを大切にしたい前向きな意見が多く出されました。

今回の意見交換会を通して、生徒たちは地域の活動について理解を深めるとともに、自分たちも地域を支える一員であることを改めて実感する機会となりました。



「子どもを中心に語り合おう」 ～地域と学校がつながる～

8月27日、夏休み明け初日に、荏田西小学校体育館にて第3回学校運営協議会拡大委員会「子どもを中心に語り合おう」を開催しました。当日は、学校運営協議会委員や地域の皆様、市ヶ尾中学校・荏田西小学校・東市ヶ尾小学校の教職員が参加し、子どもたちのよりよい成長と地域づくりについて意見を交換しました。話し合いでは、

「子どもたちが参加しやすい地域行事」（子どもの地域貢献）

「学校安全と防災」（学校防災と地域防災）

「子どもたちが安心・安全に過ごすための支援」（子どもの人権）

の3つのテーマについて、「現状の把握と課題」「今すぐにできること」「今後取り組むべきこと」の視点から活発に意見を交わしました。

協議を通して、地域には学校教育の枠を超えた学びの場があり、地域と学校が連携して子どもたちの成長を支えることの大切さを改めて確認しました。また、「子どもたちは多くの人との関わりの中で成長する」という共通認識を共有することができました。3つのテーマについて、地域と学校それぞれの視点から課題や方向性を確認する有意義な機会となりました。今後も連携を深め、子どもたちの健やかな成長を支えてまいります。

